

五條市

五條市が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

五條市は若い世代、子どもを生み育てる世代を増加させるため、子どもを育てたいまちづくりを目指しています。そのために、妊娠期からの切れ目ない子育て支援を実施することで、親子共に健康で安心して過ごすことができる環境づくりを実現します。

1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順
・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲26.7% (▲6.2%)	24位	▲11.0% (▲2.1%)	22位	▲15.6% (▲4.1%)	28位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年（年率）	順位	対H15～19年（年率）増減	(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)		
1.21 (1.29)	29位	+0.08 (+0.06)	H27年	順位	
			73.2 (74.4)	16位	
④出生数（人）	⑤年少人口割合（15歳未満）				
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
120 (8,947)	9.3% (12.0%)	24位	▲1.0ポイント (▲0.7ポイント)		
⑥子育て世代割合（25～44歳）					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
16.9% (20.7%)	23位	▲3.4ポイント (▲3.8ポイント)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 少子高齢化、出生数の減少、核家族の増加による地域関係の希薄化や身近な相談者の減少に伴い、子育て全般に関する相談窓口の強化及び地域支援づくりが必要。
- ② 児童虐待の未然防止・早期発見のため、相談窓口の1本化及び地域を巻き込んだ相談体制の構築が必要。
- ③ 共働き家庭の増加に伴い、放課後に保護者が家庭にいない児童が増加しており、学童保育所の受け入れ体制の拡充が必要。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方（目指していること）

- ① 子育て家庭を社会全体で支え合う仕組みを構築する。
- ② 妊娠期からの切れ目ない支援を通じて、保護者の子育て力を向上させ、子どもの生きる力、生活力をつけていく。
- ③ 男女ともに、仕事と子育てが両立できるよう、認定こども園や学童保育所を整備していく。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 子育て世代包括支援センターを設置し、保健師、保育士等連携した産前産後の早い段階からのきめ細やかな支援の実施。**民生委員、主任児童委員と共に新生児全戸訪問**による、保護者と地域をつなぐ仕組みづくりを構築。
- ② **保健福祉センター母子保健担当係に児童虐待対応事務局を設置**し、相談窓口・健診業務の一本化、虐待の早期予防・早期発見を念頭に置いた関わりを実施。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 子育て世代包括支援センター及び子育て支援センターにそれぞれ保健師と保育士のコーディネーターを置き、児童福祉課の家庭相談員、民生委員、主任児童委員等関係機関と連携した子ども支援。
- ② 地域の子育てサークルと連携した幅広い子育て支援。

詳しくは 五條市ホームページ
<http://www.city.gojo.lg.jp>